

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年03月24日

計画の名称	安心・安全な公園づくり（防災・安全）									
計画の期間	平成28年度～平成31年度（4年間）								重点配分対象の該当	○
交付対象	鶴ヶ島市									
計画の目標	・鶴ヶ島市地域防災計画において活動支援拠点として位置付けられた、鶴ヶ島市運動公園の整備を実施し、安心・安全な都市環境の形成を図る。 ・公園施設長寿命化計画に基づく、公園施設の改築、更新を実施し、安心・安全な公園づくりを進める。									
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	218	A	218	B	0	C	0	D	0
効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）										0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28当初	H30末	H31末
1	公園整備により、災害時に活動拠点として活用するスペースの割合を55.9%（H28当初）から76.4%（H32末）に増加する。 活動拠点スペースの割合 （整備済み都市公園の活動拠点スペース総面積）／（地域防災計画に記載された都市公園の活動拠点スペース総面積：22.02ha）	56%	%	76%
2	健全度調査の結果、D判定・C判定となった公園施設を改築更新した割合を0%（H28当初）から27.8%（H32末）に増加する。 D判定・C判定となった施設の改修・更新達成率 （改築・更新実施済施設数）／（対象公園施設数：223施設）	0%	14%	28%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－
1. 整備済み都市公園の活動拠点スペース総面積・当初現況値：0.6ha・最終目標値：0.8ha2. 改修・更新実施済施設数・中間目標値：31施設・最終目標値：62施設												

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	鶴ヶ島市	直接	鶴ヶ島市	－	－	都市公園事業（鶴ヶ島市運動公園）（A-1）	用地取得（4.3ha）、施設整備（野球場、テニスコート、多目的広場）	鶴ヶ島市	■					77		－
	A12-002	公園	一般	鶴ヶ島市	直接	鶴ヶ島市	－	－	鶴ヶ島市都市公園安全・安心対策事業（A-2）	長寿命化対策 D判定・C判定となった公園施設の改築・更新（鶴ヶ島南近隣公園等3公園）	鶴ヶ島市				■		141		策定済
		長寿命化対策（141百万円）																	
											小計						218		
											合計						218		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

社会資本総合整備計画の事後評価として鶴ヶ島市で実施

事後評価の実施時期

令和3年3月

公表の方法

市のホームページにて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

D判定・C判定となった施設を計画的に改修・更新を行うことで、目標を上回る実績となり、公園利用者の安全を図ることができた。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

運動公園第二期整備基本計画を見直しを行い、適切に事業を進めていく。
今後も現場の状況等を確認しながら、安心・安全な公園整備を進めていく。

案件番号：

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		目標値と実績値に差が出た要因
	目標値／実績値		
1	公園整備により、災害時に活動拠点として活用するスペースの割合を55.9%から76.4%に増加する。		
	最 終 目標値	76%	運動公園第二期整備基本計画を見直す必要が生じ、事業が停滞したため。
	最 終 実績値	56%	
2	健全度調査の結果、D判定・C判定となった公園施設を改築更新した割合を0%から27.8%に増加する。		
	最 終 目標値	28%	対象公園施設の改修・更新を計画的に行ったため。
	最 終 実績値	45%	